



■2015年は「トキ野生復帰環境再生ビジョンYEAR」

環境省は2003年に、関係機関と地域の方々の議論を経て環境再生ビジョンを策定し「2015年頃、小佐渡東部に60羽のトキを定着させる」という目標を掲げました。そして、今年はその目標達成検証年となります。

市では、同ビジョンに向けて「人とトキが共生できる社会」の実現を目指し、次のような取り組みを行っています。

I「生きものを育む農法」により栽培された「朱鷺と暮らす郷づくり」認証米の認証制度

II トキが入った田んぼで生産されたお米「トキ踏んじやった米」を限定販売し「トキと人との共生への社会づくりを目指す島」を周知

III 「トキビオトップ整備事業」による餌場の生物量増大と維持管理

IV 「営巣木の保全」を目的とした放棄里山林の間伐・徐伐施行等

V 「トキガイド養成講座」を開催し観光客等へ案内できるガイドを登録

VI 「生物多様性学術研究等奨励事業」の補助金交付を受けた大学生等による研究発表

これらの取組みのほかにも、さまざまなイベントやシンポジウム等を開

催する予定で、詳細については随時ご案内していきます。皆さまのご協力が、トキの野生復帰につながりますので、ぜひご参加ください。

■佐渡トキ保護センターの新ケージが完成しトキが移動しました

11月7日、佐渡トキ保護センター野生復帰ステーション敷地内に新たに完成した飼育ケージへ、トキ17羽が移動したことが、環境省により発表されました。同ケージは、佐渡トキ保護センターおよび分散飼育地で繁殖したトキの個体について、放鳥の順化訓練を行うまでの一定期間、より安全かつ健康な状態で飼育を行うために新設したものです。また、

11月11日には、出雲市トキ分散飼育センターから移送されたトキ11羽のうち7羽が新ケージへ移動しました。なお、この施設は一般公開を行っていません。

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館内）

☎24-6040



新ケージ写真(環境省提供)

障がい福祉施設授産品紹介コーナー

第1回 相川岩百合

佐渡にニューヒロイン誕生!? 「佐渡島こんぶ」

佐渡の豊かな自然から、また一つ名産品が生まれ、大きく花開こうとしています。

時は8年前、多田漁港にあるあわび稚苗生産施設内の海洋深層水プールで生かされていた、北海道産昆布から芽が出ていることが発端となり、前浜・内海府のわかめ漁師が養殖に挑戦しました。そして昨年漁業権を取得し、販売開始となりました。

1年物の昆布は、そのままで楽しめるほか「お手軽」「早煮え昆布」「やさしいダシ」とも表現され、煮物、炒め物、漬け物に適しています。

相川岩百合では、昨夏から佐渡コンブ養殖研究会の支援を受け、「おしゃぶり昆布」の製造・販売の許可をいただき、授産品として取り組んでいます。

豊かで優しく美しい佐渡の海で育まれた「佐渡島こんぶ」をぜひご賞味ください。



佐渡島こんぶの母草



カブの漬物に最適です



おしゃぶり昆布5g入



大袋50g入

◆ご注文のお問い合わせ先

〒952-1511 佐渡市相川栄町24番地

障がい福祉サービス事業所 相川岩百合 ☎74-0017 FAX74-0018